

# 函館歴史文化観光検定 - はこだて検定公式テキストブック(初版) 正誤表

(19-02-22/re1.4)

テキスト初版(平成18年12月18日発行)において、以下のとおり誤りがありましたのでお詫びし訂正申し上げます。テキストブックは皆様のご意見を頂きながら、より精度を高め充実した内容にして参りますので、内容に関してお問い合わせがありましたら、函館商工会議所公式テキスト担当(TEL0138-23-1181)までご連絡下さい。(ご指摘いただいた事項につきましては、内容検証・確認作業を行い、訂正が必要なものについては順次正誤表に記載し公表いたします。)

最新の正誤表対応情報はホームページで提供します。<http://www.hakodate.cci.or.jp/>

箇所欄の行数には見出しを含み、空行は含みません。最右列のNoは掲載した正誤表のリリース番号です。

第一回検定試験(平成19年3月11日実施)では、この正誤表に記載されている事項は出題いたしません。

頁	箇所	誤	正	No
12	右段3行目	縄文晩期	縄文後期	3
14	右段10行目	アイヌとの戦いに敗れたため、 函館地方は完全に松前氏の支配 下に入ることになり、	アイヌとの戦いに敗れました。 その後、函館地方は松前氏の支 配下に入ることになり、	4
21	高田屋敷跡の石柱4行目	敷地面積で220㎡あり、	(削除)	1
25	左段18行目	1957年発行の	1857年発行の	2
	右段2行目	スクーター洋式帆船	洋式スクーター船	1
26	右段5行目	木津孝吉	木津孝吉(幸吉)	4
27	年表8行目	木津幸吉		
27	年表15行目	1888年(明治21)	1889年(明治22)	4
31	左段の写真2枚	(写真の位置)	上下2枚の写真を入れ替え	1.5
33	碧血碑1行目	大島圭介	大島圭介	1
	護国神社3行目	官軍基地	官軍墓地	2
35	北海道第一歩の地碑2行目	白熊	熊	1
45	左段19行目	消失	焼失	1.5
46	左段4行目・16行目			4
168	右段12行目			
46	右段2行目	高龍寺は、1879年(明治12)の 大火により亀田村から台町(現 船見町)へ移転しました。	高龍寺は、1879年(明治12)の 大火ののちの区画整理によっ て弁天町から台町(現船見町)へ 移転しました。	1 4
54	左段5行目	函館山は鮮新世期(約1,200万年 前)末期からの火山活動で出来 た火山島で、	函館山は少なくとも100万年以 前からの火山活動によって出来 た島で、	1
	左段26行目	約900m	約1km	2
55	右段13行目	エンレイソウ、コジマエンレイ ソウ、ミヤマエンレイソウの4 種のエンレイソウが見られる	エンレイソウ、オオバナエンレ イソウ、ミヤマエンレイソウ、 コジマエンレイソウの4種のエ ンレイソウが見られる	4
	右段21行目	クマイガソウ	クマガイソウ	4
59	左段8行目	清京院	清涼院	1
60	月別平均気温グラフ	横軸の月が無い	左側から順に1月 12月	3
68	右段11行目	北方圏生物フィールド科学セン ター	北方生物圏フィールド科学セン ター	4
72	右段19行目	箱館	函館	1
82	右段21行目	経度	緯度	1
92	右段上表縦軸単位	(人)	(千人)	1

(裏面に続く)

頁	箇所	誤	正	No																																	
93	右段上から2つめの表	[過去1年間で行った事のある観光地のうちまた訪れたいと思う観光地(関東)]の表が左表と同じ	過去1年間で行った事のある観光地のうちまた訪れたいと思う観光地(関東)  <table border="1"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>観光地</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>沖縄本島</td> <td>83.9%</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>神戸</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>舞浜TDL</td> <td>64.2%</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>富良野</td> <td>63.2%</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>釧路</td> <td>61.0%</td> </tr> <tr> <td>6位</td> <td>京都市内</td> <td>60.6%</td> </tr> <tr> <td>7位</td> <td>二セコ</td> <td>59.6%</td> </tr> <tr> <td>8位</td> <td>函館</td> <td>58.6%</td> </tr> <tr> <td>9位</td> <td>小樽</td> <td>56.9%</td> </tr> <tr> <td>10位</td> <td>軽井沢</td> <td>55.6%</td> </tr> </tbody> </table>	順位	観光地	割合	1位	沖縄本島	83.9%	2位	神戸	66.7%	3位	舞浜TDL	64.2%	4位	富良野	63.2%	5位	釧路	61.0%	6位	京都市内	60.6%	7位	二セコ	59.6%	8位	函館	58.6%	9位	小樽	56.9%	10位	軽井沢	55.6%	2
順位	観光地	割合																																			
1位	沖縄本島	83.9%																																			
2位	神戸	66.7%																																			
3位	舞浜TDL	64.2%																																			
4位	富良野	63.2%																																			
5位	釧路	61.0%																																			
6位	京都市内	60.6%																																			
7位	二セコ	59.6%																																			
8位	函館	58.6%																																			
9位	小樽	56.9%																																			
10位	軽井沢	55.6%																																			
94	左段最下部 函館観光の経済波及効果	観光消費額 生産波及効果 生産波及効果	観光消費額 生産波及効果(1) 生産波及効果(2)	2																																	
123	右段6行目	1907年(明治40)に弥生小に入学	1907年(明治40)の前年に弥生小に入学	1																																	
	右段25行目ルビ	まきいつば	まきいつま	1																																	
124	左段30行目ルビ	がくじゅうろう	あごじゅうろう	1																																	
133	左段34行目	津軽要塞	函館要塞	4																																	
151	右段12行目	跡	後	1																																	
154	函館～奥尻の便数欄	毎日1～3便	毎日1便	3																																	
157	道南各地区間の距離地図	長万部町の上の国道5号マーク	(削除)	1																																	
172	左段5行目	大小の沼	大小の島	3																																	
175	左段25行目	大島圭介	大島圭介	3																																	